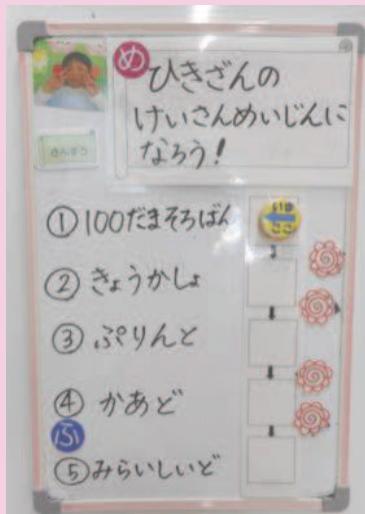
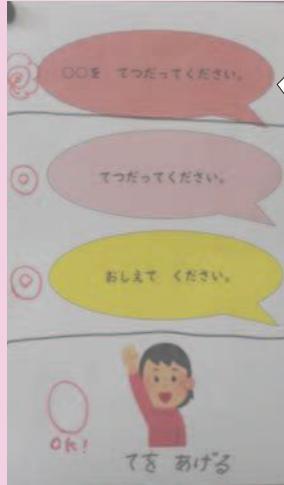


授業づくりの工夫

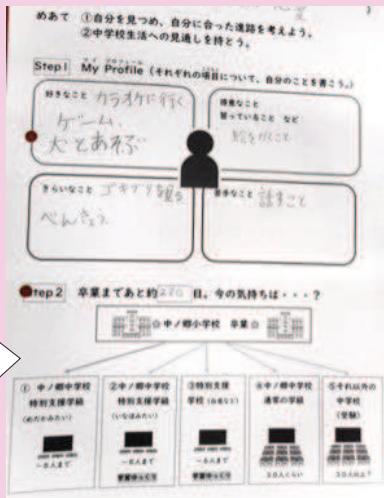


毎時間の「学習のめあて」と「授業の流れ」を示し、見通しをもって意欲的に取り組むための支援。できることについては、花丸ですぐに評価を実施。「わたり」と「ずらし」を上手く仕組むためにも有効な支援。

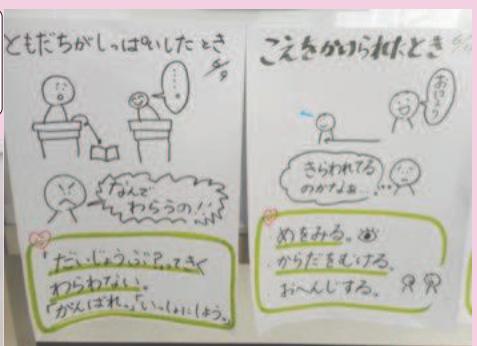
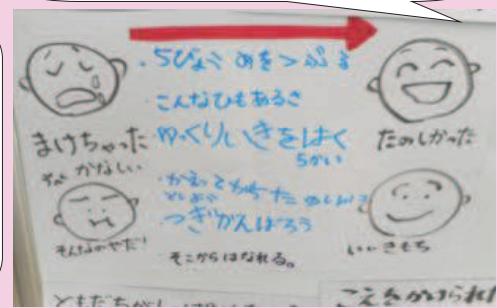


本人の今の姿（できていること）を認めると同時に、なりたい姿（なってほしい姿）をスマールステップで視覚的に示す支援。

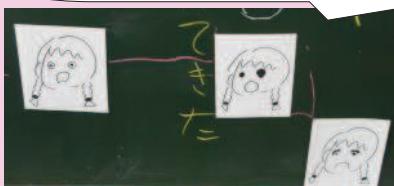
進路指導の中で、中学校生活の見通しを持たせるための工夫。



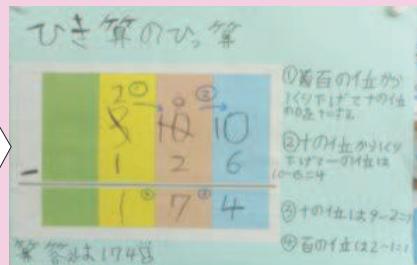
自立活動の学習履歴を掲示することで、学んだことを、日常生活で応用できるようにするための工夫。



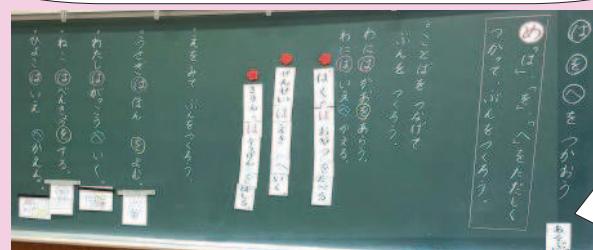
国語の物語文で、登場人物の気持ちの変化を言葉と表情で視覚的に示す工夫。



子どもがまとめたものを、学習履歴として掲示。わからなくなったらすぐ見直し、思い出せるようにするための支援。



国語での助詞の指導において、黒板でカードを操作する活動を取り入れながら、視覚的にわかりやすく学ぶ工夫。



使わないカードをあえて入れて「あれ？」と考えさせてすることで学習を深める工夫。

<取組について情報を提供してくださった学校>

- ・鳥取市立湖山西小学校
- ・鳥取市立末恒小学校
- ・鳥取市立西郷小学校
- ・鳥取市立青谷小学校
- ・鳥取市立日進小学校
- ・鳥取市立宮ノ下小学校
- ・鳥取市立中ノ郷小学校
- ・鳥取市立米里小学校

各学校において、4月からこれまで、担任の先生をはじめ特別支援に関わる先生方が、特別支援学級の物的環境や人的環境を整え、個々の教育的ニーズに合った支援を積み重ねてきた努力が、子どもたちの自らの課題に挑む主体的な姿に表れていました。うまくいかないこともありますが、一人で抱え込まないように校内のサポート体制を組み、これからも「チーム支援学級」として、学び合いや助け合いを大切にしていきましょう。困ったことがあれば、気軽に専門員へご連絡ください。一緒に考えていきたいと思います。後期の巡回相談もよろしくお願いします。